

②進捗状況調査シート(生涯スポーツ推進計画・令和6年度分)

No	事業名	担当課	基本施策	事業目的	事業内容	成果指標	成果指標に設定されている目標値			令和5年度実績値	令和6年度実績値	進捗状況	現状分析	令和7年度以降の方向性
							平成30年度実績値	6年度までに	11年度までに					
1	公園などの遊具の活用 【令和2年度廃止】	市民スポーツ課	1-2-① 3-2-②	市民が日ごろから体を動かす習慣を見つけられるよう、身近な公園に設置してある健康遊具を市民に周知や活用を図る。	ウォーキングマップを作成し、市民の健康づくりの意識を高めるため、公園遊具の所在地や活用を周知する。	「うらやすウォーキングマップ」の認知度(%) (市民意識調査)	-	-	-	-	-	-	-	廃止
1-2	幼児期体力向上支援事業 【令和4年度から開始】	市民スポーツ課	1-1-① 1-2-① 3-1-①	運動公園施設と指定管理者が持つ運動指導のノウハウを活用し、幼児に楽しく運動をするプログラムを提供することで、幼児期における体力向上と生涯にわたり健康を維持する運動習慣の基盤をつくることを目的とする。また、併せて施設利用の向上も図る。	市が所有するマイクロバスを活用し、市内認可保育所等に通う園児を対象に各園と運動公園までの送迎を行う。	プログラム参加人数(バス利用者)(人)	-	7,380	9,056	5,772	5,053	C	対象となる市内の認可保育園・認定こども園・幼稚園のなかには、当該事業を利用しない園が存在している。については、事業内容に加え、未利用となっている園に対する周知について継続的に検討していく。	継続
2	健康づくり事業	公民館	1-2-①	市民の健康づくりのために、地域の身近な場所で運動ができる環境の提供や主催事業を実施する。	主な事業として高齢者を対象にした「おたっしや体操」、幼児から高齢者までを対象にした「体育館・運動室の一般開放」、小学生から対象にした「クライミング事業」を実施している。	各公民館の運動事業延参加者数(人)	20,434	18,000	18,000	15,402	19,863	A	体育館や運動室の一般開放や「おたっしや体操」等の事業に加え、障がいのある人が運動できる「チャレンジスポーツ」を実施した。	継続
3	トップスポーツチームの講演会やスポーツ教室事業	市民スポーツ課	2-1-④ 2-2-①	市内を拠点とするトップスポーツチームと連携を図り、講演会やスポーツ教室等の実施により市民のスポーツへの関心を高める。	市内イベントでの市民とのふれあいやスポーツ関係団体への講演会、さらには、小中学校を対象としたスポーツ教室を実施する。	小・中学校でのスポーツ教室の実施校(校)	10	15	20以上	33	20	A	市内を拠点とするトップスポーツ3チームとも、積極的に認定こども園・保育園や小中学校を訪問し、スポーツ教室を開催することができた。引き続き、「みるスポーツ」として地元スポーツチームへの関心を高めることができるよう、交流の充実を図っていく。	継続
5	少年スポーツ団体活動支援事業	市民スポーツ課	1-3-① 2-2-② 4-1-② 4-2-①	多くの子どもがスポーツ競技に取り組めるよう、少年スポーツ団体の活動を支援する。	少年野球、サッカー四種、ジュニアゴルフ、ジュニアテニス、リトルシニアの5団体の活動を支援する。	各団体会員数の合計(人)	2,200	2,400	2,500	1,900	1,980	C	少年スポーツ団体の育成・競技力の向上及び青少年スポーツの振興を図るため、補助金を交付し、活動を支援してきた。少子化の進展に伴って必然的に会員数も減少するなか、多くの子どもが身近にスポーツに親しむ環境を提供できるよう、各団体と連携し競技の魅力などの情報発信に努めていく。	継続
6	少年親善スポーツ大会	青少年課	2-2-②	浦安市青少年相談員連絡協議会が主体となり、スポーツを媒体として、児童相互の交流を図るとともに、活動を通じて豊かな心を育み、青少年の健全育成を図る。	スポーツを通じて児童交流と体力づくりを目的とし、令和元年度まではドッジボール大会を実施していた。令和2年度から、モルックという競技に変更した。	参加者数(人)	292	100	100	91	97	A	老若男女問わず楽しむことができる「モルック」を競技として取り入れたことで、多くの方が参加できるイベントとなっている。令和7年度においても、市内の児童、生徒がスポーツを通じて家族の絆や友情を深めるとともに、心と体を健全に育む事業として継続していく。	継続
9	運動公園の再整備	市民スポーツ課	3-1-②	運動公園の各施設について、運動公園機能検証報告書及び市民ニーズを踏まえ、施設の機能転換等について検討し、全ての市民が親しみ楽しむことができる施設へと展開していく。	運動公園の各施設について、運動公園機能検証報告書及び市民ニーズを踏まえ、施設の機能転換等について検討し、全ての市民が親しみ楽しむことができる施設へと展開していく。	計画に基づき整備を行う。	調査・検討	整備	計画見直し	-	-	B	短期的には、「浦安市社会体育施設長寿命化計画」(令和4年度策定)に基づき、現行施設の長寿命化とライフサイクルコストの縮減に努める。中長期的には、「みるスポーツ」としての市民の関心を喚起する観点から、本市を活動拠点とするトップスポーツチームの支援や、陸上競技場の芝生化や施設全体の再配置について検討していく。	継続
10	スポーツ施設のバリアフリー化事業	市民スポーツ課	3-1-②	市内の誰もがスポーツ施設において、スポーツに親しみることができるよう、スポーツ施設の改修等を行う。	手すり設置、通路の勾配改修、避難出口設置、アスファルト舗装整備等を実施する。	運動公園内複数箇所 市内スポーツ施設の該当箇所	検討	整備	-	-	-	A	誰もがスポーツを楽しめる環境を整備できるよう、令和6年度は東野プールのプールサイドにおける段差を解消するための改修工事を実施した。	継続
11	スポーツ施設の維持補修事業	市民スポーツ課	3-1-②	安全で快適に利用出来るスポーツ施設の提供と、財政の健全化に向けた効率的・効果的な改修、維持、管理等により、スポーツ施設の長寿命化を図る。	スポーツ施設の修繕や改修を行う。	スポーツ施設の長寿命化を図る。	-	-	-	-	-	A	スポーツ施設の長寿命化を図るため、「浦安市社会体育施設長寿命化計画」(令和4年度策定)に基づいた改修を行う。令和6年度は47件の修繕工事等を実施しており、引き続き市民ニーズを踏まえた施設の維持管理に努めていく。	継続

No	事業名	担当課	基本施策	事業目的	事業内容	成果指標	成果指標に設定されている目標値			令和5年度実績値	令和6年度実績値	進捗状況	現状分析	令和7年度以降の方向性	
							平成30年度実績値	6年度までに	11年度までに						
12	東京ベイ浦安シティマラソン	市民スポーツ課	1-1-① 4-1-① 4-1-②	生涯スポーツ健康都市の宣言趣旨に基づき、スポーツを通して市民一人ひとりが生涯にわたって心身ともに明るく健康であることを目指して実施する。また、一人でも多くの市民がランナーを支え、市民が盛り上げる大会を実現し、スポーツ振興に繋げていく。	例年、2月の第一週の日曜日開催。 種目：3km(一般、中学生、小学生5.6年)、10km、ハーフマラソン 定員：3km 1,000人、10km1,500人、ハーフマラソン 3,500人	東京ベイ浦安シティマラソンにエントリーした人の当日参加率(%)	88.8%	90%以上	90%以上	76.9%	71.6%	C	令和6年度は悪天候であったこともあり、例年と比較し、当日の参加辞退者が多かった。 なお、前年度から引き続き、3kmと10kmの2種目で開催したが、一部の参加者からハーフマラソンの再開を望む声が寄せられた。一方で、距離が長くなれば近隣への影響も大きいことから、市民にとって親しみのある大会になるよう、距離やコース設定などについて多面的に検討していく。	継続	
13	浦安スポーツフェア	市民スポーツ課	1-1-① 1-2-② 4-1-①	市民が気軽にスポーツに親しみ、生涯にわたって心身ともに明るく健康な生活を送れるよう「体育の日」の時期に合わせて開催する。また、日本における大規模な国際大会の開催を契機に、市民のスポーツへの機運を高めるため実施する。	国際大会競技大会推進事業(例：ボルダリング、VRフェンシング、車いすバスケットボール、自転車競技)、有名人イベント、スポーツ体験・チャレンジコーナー(市内スポーツ団体種目・レクリエーション種目)、ステージ公演イベント、屋内水泳プール・キッズスポーツルーム無料開放	浦安スポーツフェアでの体験者数(人)	12,674	13,000	13,300	11,444	12,669	B	令和6年度は、リハビリから発祥したアーバンスポーツ「フットバック」など新たなスポーツの体験に加え、本市を活動拠点とするトップスポーツチームとの交流などを実施し、多くの参加者に来場いただくことができた。 今後はさらに多くの来場者が見込めるよう、内容や周知方法について検討していく。	継続	
14	スポーツ施設運営事業(指定管理の活用)	市民スポーツ課	1-1-① 3-1-① 3-2-②	市民のニーズに応じたスポーツ機会を提供するため、スポーツ施設の効率的な運営を図る。	指定管理者制度を活用し、市民のニーズに応じたイベントを開催する。	指定管理施設数(施設)	3	検討	全て	3	3	B	指定管理制度を導入している施設については、スポーツ競技の経験者や指導者資格を有する職員を配置し、市民ニーズを踏まえたイベント等を実施した。 指定管理制度の導入が未実施となっている施設については、より良い運営方法について継続的に検討していく。	継続	
15	スポーツ協会活動支援事業	市民スポーツ課	1-1-② 1-3-① 4-1-② 4-2-①	市民誰もがそれぞれのニーズあったスポーツに取り組める機会の提供や、健康増進、競技力の向上を図る。	スポーツ協会に対し、補助金交付の他、活動に関する助言等を行い、団体活動の支援を行う。	スポーツ協会の会員数(人)	13,349	13,500	13,600	13,179	20,045	A	各種団体の役員により構成されているスポーツ協会が市民大会を運営することで、各競技へのニーズに対して専門的な対応ができています。 一方で、少子高齢化の進展等に起因して会員数が減少している加盟団体もあることから、課題となる新規会員の確保について継続的に検討していく。	継続	
16	浦安クリテリウム実施事業	市民スポーツ課	1-1-③	市内外の人に浦安を知ってもらう機会とするとともに、自転車競技の普及を図る。	クリテリウム実行委員会の開催、公式ホームページ作成、実施要項の作成、クリテリウムの運営、参加者周知など	クリテリウムの参加者数(人)	-	500	700	-	208	B	令和6年度が第1回の開催となったが、参加者からはロケーションを含め概ね好評であった。一方で、クラスの細分化を望む声や、大会初心者に寄り添った内容とするなどの要望も寄せられたことから、参加枠などを含めより多くの方が満足できる大会となるよう、内容について検討していく。	継続	
18	スポーツ推進委員連絡協議会支援事業	市民スポーツ課	1-2-③ 2-2-① 2-2-② 4-1-②	スポーツ推進員の活動をととして、市民が身近な場所でスポーツができる機会を提供するとともに、ニュースポーツ種目の普及を図る。	市内を中央地区、新浦地区の2地区に分け、公民館等においてスポーツ推進委員がヘルスパレーボール、インディアカなどのニュースポーツを普及する活動を行う。	スポーツ推進委員の数(人)	29	35	35	25	20	C	地域のスポーツ活動を支えるスポーツ推進委員については、担い手不足が課題となっている。については、積極的な活動のPRなどを通して、引き続き新規委員の発掘に努める。	継続	
19	軽スポーツ大会【令和5年度廃止】	市民スポーツ課	1-2-③ 1-3-②	市民誰もが取り組める軽スポーツ(ニュースポーツ)の普及・振興を図り、市民の健康増進及び体力向上を図る。	ドッチビーやミニバレーボールなどの軽スポーツの種目を普及・振興を図る。	軽スポーツ大会の参加者数(人)	-	-	-	-	-	-	-	-	廃止
22	市民大会の実施	市民スポーツ課	1-3-② 4-2-②	市民の競技力向上やスポーツを通じて市民が交流する機会を提供する。	教育委員会主催事業として、浦安市スポーツ協会へ委託し、スポーツ協会加盟団体の運営のもとに市民大会を実施する。市では、レプリカや賞状の作成を行っている。 スポーツ協会加盟団体:32団体 レプリカ、賞状の作成	市民大会1回(年間)の参加者数(人)	9,223	9,300	9,400	19,621	17,776	A	市とスポーツ協会の共催により春と秋の市民大会を実施することで、市民がスポーツを楽しみ、交流する場を提供することができている。 なお、成果指標では春と秋の参加者数の合計を用いてきたことから、より正確な表現となるよう表記の修正を行った。	見直し継続	
23	少年スポーツ大会の実施	市民スポーツ課	1-3-② 4-2-②	子どもの競技力向上やスポーツを通じて交流する機会を提供する。	教育委員会・少年スポーツ団体(少年野球)の共催事業として、少年野球連盟の運営のもとに市民大会を実施する。市では、レプリカや賞状の作成を行っている。 少年野球大会レプリカ、賞状の作成	市民大会1回(秋季大会の高学年・低学年)の(1部、3部)合計参加チーム数(チーム)	24	25	26	23	23	B	春と秋の少年野球大会を実施することで、青少年がスポーツを楽しみ、交流する場を提供することができている。 一方で、野球界全体として子どもの競技人口の減少が課題となっている。高校野球連盟では競技人口の拡大を目的に、子どもを対象とした「ベースボールフェスティバル」を運動公園野球場で毎年開催しており、本市も後援を行っている。については、こうした競技人口の拡大に向けた取組みについて、継続的に支援していく。 なお、成果指標では春と秋のうちいずれかの参加チーム数を用いてきたことから、より正確かつ限定した表現となるよう表記の修正を行った。	継続	

No	事業名	担当課	基本施策	事業目的	事業内容	成果指標	成果指標に設定されている目標値			令和5年度実績値	令和6年度実績値	進捗状況	現状分析	令和7年度以降の方向性
							平成30年度実績値	6年度までに	11年度までに					
25	県民・関東・全国・国際大会補助事業	市民スポーツ課	1-3-③	スポーツ関係団体(個人含む)で県民大会等に出場する個人又は団体に対し、経費の負担軽減を図るため、交通費等を補助する。	県民大会強化費、県民大会派遣費、全国大会・関東大会出場補助金、国際大会等出場賞賜金(世界大会、アジア大会など)	国際大会出場賞賜金交付件数	4	6	8	14	20	A	令和6年度は20件の交付を実施した。交付件数は対象選手の実績によるが、当該事業の対象となっているにも関わらず、交付申請に至っていない潜在的な対象者の存在が見込まれる。については、事業の存在や目的が広範に周知できるよう、より効果的な情報発信について検討していく。	継続
26	オリンピック・パラリンピック等選手育成事業	市民スポーツ課	1-3-③	オリンピック等を目指す高い意欲や意識のある優秀な選手の育成を図るとともに、市民のスポーツに取り組む気運の醸成を図る。	選定委員会から選出された育成選手について、旅費、用具、合宿費、会場使用料、指導者の招聘、運搬費、その他のうち、10万円を限度として交付する。	オリンピック・パラリンピック等選手育成補助金交付人数(人)	12	13	14	6	7	C	令和6年度は市内の優秀な選手7名に補助金を交付した。交付件数は対象選手の実績によるため目標値との乖離が生じているが、今後もオリンピック・パラリンピックを目指す高い意欲のある優秀な選手の育成を図るとともに、市民のスポーツに取り組む機運を醸成していく。	継続
27	トップスポーツチームの観戦情報発信	市民スポーツ課	2-1-① 2-1-④ 4-2-②	本市を活動拠点とするトップスポーツチームと千葉ロッテマリーンズのイースタンリーグが開催されるなど、身近にトップレベルのスポーツに触れられる機会が充実していることから、これらのトップスポーツチームと連携・協力し、活用していくことで、より多くの市民のスポーツへの関心を喚起していく。 本市を活動拠点とするトップスポーツ3チームと連携し、「みるスポーツ」としての市民の関心の喚起と、地元チームの応援を通じた交流の機会を創出するとともに、子どもたちの観戦を通じた新たな競技人口の拡大につなげる。	浦安D-Rocks(ラグビー)の応援バスツアー、バルドラール浦安(フットサル)やプリオベッカ浦安(サッカー)のホームゲームの観戦、千葉ロッテマリーンズ(野球)のイースタンリーグが年1回開催。 各トップスポーツチームの観戦につながるよう、情報の発信を強化する。	本市を拠点とするトップスポーツチームのホームゲームの観客動員数(人)に関する市ホームページでの情報発信の回数(回)	-	20,000 15	22,000 30	35,455	14	B	本事業はこれまで、本市を拠点とするトップスポーツ3チームのホームゲームの観客動員数を成果指標としてきた。しかし、市内でホームゲームを実施しているのは現状1チームであること、ホームゲームの観客数には市外者も含まれること、アウエーのゲームに足を運ぶ市民も存在することなどを踏まえると、現状と指標との乖離が認められる。については、トップスポーツチームの活動や魅力を多くの市民に周知するため、指標を情報の発信回数に見直したうえで事業を継続することとした。 なお、令和6年度は市ホームページを通して、トップスポーツチームに関する情報を計14回発信したが、今後はさらなる情報発信の強化に努めていく。	見直し継続
28	フットサル全国リーグ支援事業【令和5年度廃止】	市民スポーツ課	2-1-① 2-2-①	浦安市総合体育館をホームアリーナとし、全国のフットサル界トップリーグとなる「Fリーグ」に継続して参戦している。過去11年間で、連続して年間1万人を超える観客を動員しており、スポーツでより一層の地域活性化を図るためホームゲームにおける「応援環境」を整備する。	映像・音響オペレーター並びに進行ディレクターを配置し、よりクオリティの高い興行を提供し、会場の雰囲気・応援態勢を整備することで地元チームのホームゲームを盛り上げる「地域密着」の演出を図る。	ホームゲームでの観客動員数(人)	10,000	11,000	11,500	11,591	-	-	-	廃止
29	スポーツ関係団体への情報発信	市民スポーツ課	2-1-② 2-1-③	スポーツ協会等、スポーツ関係団体と連携、協力した情報発信を図り、本市のスポーツ推進を図る。	市からスポーツ関係団体等へ国や県の動向を発信するとともに、市民大会や各スポーツ団体主催のスポーツ事業を広報うらやすやホームページなどに掲載し、市民への周知を図る。	-	-	-	-	-	-	A	スポーツ関係団体への情報共有に加えて、団体と連携して「広報うらやす」や市のホームページへの掲載を通じた情報発信を行ってきた。今後はさらに発信を強化し、本市のスポーツ振興に関する取組みが広範に周知できるよう努めていく。	継続
30	公共施設予約管理システム事業	市民スポーツ課	2-1-③ 3-1-①	市民がいつでも、どこでもスポーツ施設の予約ができるよう環境を整備する。	インターネットを通じて市民がスポーツ施設を予約することができる公共施設予約システムを運営する。	システム更新の実施	-	システム更新	令和7年度までにシステム更新	検討	検討	B	令和5年度から準備を開始し、令和7年度中の更新完了と新システム稼働を目指して事務を進めている。	継続
31	生涯学習情報提供システム運営事業	生涯学習課	2-1-③	市民がいつでもどこでもスポーツに取り組めるよう情報を入手できる環境を整備する。	スポーツイベント等に関する情報を発信する。	生涯学習情報提供システムへのアクセス数(件)	7,994	15,000	18,000	19,059	37,044	A	令和6年度においては、令和5年度にシステムの更新を行い、スマートフォンやタブレットで閲覧することを可能としたことからアクセス数の増加につなげることができた。 今後も、引き続き、社会教育施設の情報や講座・イベント等の情報などを効果的に発信していく。	継続
35	学校体育館開放事業	市民スポーツ課	3-2-①	市民のスポーツする場の拡充を図るため、小・中学校の体育館や校庭を市民団体に開放し、スポーツ機会を提供する。	小・中学校の体育館や校庭を市民団体に開放する。 利用団体の自主性を高めるため、学校ごとに運営協議会を設立し、学校清掃等に協力してもらい、利用団体としての自主性を高めている。	利用者数(人) 利用団体数(団体)	270,300	270,400 200	270,500 300	269,880	216	A	現在、多くの施設で利用可能枠に対して満員の状態となっている。新規の団体の利用が難しい状態であることから、より多くの活動を希望する団体に場所を提供できるよう、実施方法等について検討しながら継続していく。 成果指標についても、現行の延べ利用者数は団体の規模や参加人数によって左右されることや、活動を希望する多くの団体に場所を提供する考え方を踏まえ、利用団体数に変更する。	見直し継続

No	事業名	担当課	基本施策	事業目的	事業内容	成果指標	成果指標に設定されている目標値			令和5年度実績値	令和6年度実績値	進捗状況	現状分析	令和7年度以降の方向性
							平成30年度実績値	6年度までに	11年度までに					
38	みんなのスポーツの集い 【令和2年度廃止】	市民スポーツ課	4-1-①	市民が気軽にスポーツに親しみ、スポーツを通して市民が交流できる機会を提供する。	スポーツ推進委員連絡協議会が主体となって、市民が気軽にスポーツに親しめるイベントを運営する。	みんなのスポーツの集い参加者数(人)	-	-	-	-	-	-		廃止
41	総合型地域スポーツクラブ支援事業	市民スポーツ課	4-1-② 4-2-①	総合型地域スポーツクラブ設立を目指す地域支援の促進を図る。	各地域で活動しているスポーツ用品等を支援する。 新たな総合型地域スポーツクラブの設立や、現行団体の円滑な運営が図られるよう支援する。	総合型地域スポーツクラブ数(クラブ)	6	7	8	6	6	B	身近な地域で様々な世代の人が、それぞれの志向やレベルにあわせてスポーツに親しめるよう、市内6つのクラブの代表者により構成される「ウラスポユナイテッド」を通じた総合型地域スポーツクラブへの支援を行ってきた。引き続き、地域住民による自主的・主体的な運営が図られるよう、スポーツ関係団体と連携しながら支援を行っていく。	継続
49	スポーツ交流事業	市民スポーツ課	4-2-②	本市とオーランド市の両市民の交流、親善及び国際理解の推進を図る。また、災害協定を締結している下妻市と新発田市と、スポーツを通して両市民の親善と友好を深めるとともに、両市のスポーツ振興を図る。	オーランド市にマラソン選手の派遣：4名、下妻市、新発田市は、隔年で会場を変更し、男女小学生を対象にスポーツ交流を図る。(サッカー、ラグビー、剣道、バスケットボール)	スポーツ交流事業種目数(種目)	4	6	8	0	0	D	令和6年度は、東京ベイ浦安シティマラソンにオーランドから4名の選手を受け入れたが、コロナ禍以降、本事業の内容であるオーランドや下妻市・新発田市への選手派遣は行っていない。オーランドへの選手派遣に関する選考の基準となっていた東京ベイ浦安シティマラソン「ハーフの部」が現在は実施されていないことや、施策の目的も踏まえ、今後は事業のあり方について検討していく。	その他